

February 24th, 2017

To whom it may concern

Nobuhiko AZUMA, President
Nagaoka University of Technology

Tetsuji CHOJI, President
National Institute of Technology, Kagoshima College

Takeshi KAWAZOE, Mayor of Nagashima town
Kagoshima prefecture

International Conference regarding Regional Revitalization (ISLife 2017)

We would like to extend our sincere gratitude for your continued cooperation.

On January 19th, 2017, a comprehensive collaboration agreement of three institutions, which are Nagashima Town, Nagaoka University of Technology and National Institute of Technology, Kagoshima College, was concluded. This agreement is an approach to strongly promote regional revitalization by combining many technical seeds possessed by the university and the college with the rich environment of Nagashima town. In order to promote this initiative proactively, it is essential to gather not only the wisdom of Japan, but also that of all over the world, which has been tackling regional and industrial revitalization. Therefore, we are holding as follows an international conference on regional revitalization through innovation in food and energy fields, titled "1st International Symposium on Local Innovative Activation by Food and Energy (ISLife 2017)".

1. Date : March 17th , 2017 (Fri) - March 19th , 2017 (Sun)

(March 18th (Sat) 9:30-10:00 reception, 10:00- opening ceremony)

2. Venue : Nagashima town, Kagoshima prefecture

Nagashima town Cultural Hall, Sunset Nagashima, etc. (facilities to visit)

3. Main contents of March 18th:

Activity-A Keynote lecture by domestic and foreign leaders (scheduled to be invited from Swiss cooperative institutions)

Activity-B Presentation of project plan on revitalization of Nagashima town by Kosen and NUT(Nagaoka University of Technology) students

Activity-C Demonstration of robots for supporting a society of longevity by Robot Contest Project

Activity-D Panel discussion on the innovation in food and energy fields and regional revitalization

Activity-E Poster presentation and exhibition on the technology possessed by NUT and KOSEN and a speciality of Nagashima Town

Activity-F Information exchange (at Sunset NAGASHIMA)

The conference will be held in English and Japanese, and an interpreter will participate as needed.

Optional activity-X : Social gathering for overseas lecturers(March 17th ; lecturers, etc.)

Optional activity-Y : Tour of some sites (March 18th ; Faculty of NUT and KOSEN : Acuaculture facility of big yellowtails and sea breams and potato cultivating facility)

Optional activity-Z : Visits depending on subject of each study(March 19th in the morning; Faculty of NUT and KOSEN)

4. Sponsor : National University Corporation Nagaoka University of Technology

Cosponsor : Nagashima town, National Institute of Technology, Kagoshima College

平成29年2月24日

関係者各位

長岡技術科学大学長 東 信彦
鹿児島工業高等専門学校長 丁子 哲治
鹿児島県長島町長 川添 健

地方活性化に関する国際会議 (ISLife2017)のご案内

皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2017年1月19日に、長島町、長岡技術科学大学、鹿児島工業高等専門学校の三機関の包括連携協定が締結されました。この協定は、大学、高専が保有する多くの技術シーズと、長島町の豊かな環境が融合することで、地方創成を強力に推進する取組みとなっております。

この取組みを積極的に推進するためには、国内はもとより、海外の地域活性化や産業活性化に取り組んできた世界中の智慧を結集することが必要不可欠です。

そこで、このたび、食料・エネルギー分野のイノベーションによる地方活性化に関する国際会議、1st International Symposium on Local Innovative Activation by Food and Energy (ISLife2017) と題しまして下記のように開催致しますので、ご案内申し上げます。皆様からご参加頂けますようお願い申し上げます。

記

1. 開催期間：平成29年3月17日（金）～19日（日）

（18日（土）9:30-10:00 受付、10:00 より開会式）

2. 開催場所：鹿児島長島町 長島町文化ホール、サンセット長島、他（見学先施設）

3. 主な内容：（18日）

活動A：国内外リーダーによる基調講演（スイス連携機関から招聘等予定）

活動B：高専・長岡技科大生による長島町活性化プロジェクト案の発表

活動C：ロボット・コンテスト・プロジェクトによる長寿社会支援ロボット実演

活動D：食料・エネルギー分野のイノベーションと地方活性化のパネルディスカッション

活動E：長岡技術科学大学、鹿児島高専、長島町の技術や特産に関するポスター発表・展示

活動F：交流会（サンセット長島）

なお、会議は、英語と日本語で実施です。通訳が適宜入ります。

ワークショップ活動X：海外招聘者等歓迎会（17日；招聘者等）

ワークショップ活動Y：現場見学会（18日；大学・高専関係者：ブリ王、鯛王養殖施設、ジャガイモ栽培地）

ワークショップ活動Z：個別研究テーマに関する視察（19日午前；大学・高専関係者）

4. 主催：国立大学法人 長岡技術科学大学

共催：長島町、独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校

以上

国際会議の全般に関する問い合わせ先

鹿児島工業高等専門学校：鹿児島高専 総務課（南部）

長岡技術科学大学：長岡技科大 総務部総務課（村山）

総務課総務係メール：so-soumu@jcom.nagaokaut.ac.jp

参加申込み（長岡技科大、その他参加希望者）（鹿児島高専は別途申込み手続済み）

申込みは、なるべく、3月2日までをお願いします。

申込書提出先：産学・地域連携課 丸山宛：nmaru@vos.nagaokaut.ac.jp

- 1)所属：長岡技術科学大学・他高専・大学・研究機関など（ ）
- 2)専攻・課程・学科、学年：_____専攻・課程・学科、_____学年
- 3)氏名：_____.
- 4)連絡先：携帯電話番号：_____.
- 5)メールアドレス：_____.
- 6)鹿児島での集合希望場所：鹿児島空港（集合場所1）：15時40分

出水駅（新幹線）（集合場所2） 16時40分

長岡技科大学生は、集合希望場所を下記1-2から選択ください。

長岡技科大学生の基本的な日程（現地での研究等の用務が無い場合です。

別用務がある場合は指導教員に相談してください）：

17日（金）午後長島町に到着

鹿児島空港（集合場所1）：15時40分頃バス出発

出水駅（新幹線）（集合場所2） 16時40分頃バス出発

長島町の宿泊先、サンセット長島、太陽の里に17時頃バス到着

18日（土）9：00頃から宿泊施設を出発（バス移動）

9：30受付・19：00交流会終了まで参加

19日（日）9：00・11：00 研究に関する施設の見学（バスで移動）

12時頃、宿泊先からバス等で移動（13時頃出水駅着、14時頃鹿児島空港着）

7)研究室指導教員名・クラス担任名・世話教員名：_____.

8)ポスター発表 有り（下記9,10も記入をお願いします）・無し（ここまで）

9)ポスター発表タイトル（英語と日本語の両方をお願いします）：

英語_____.

日本語_____.

10)ポスター発表者の所属と氏名（連名者込みで、英語と日本語の両方をお願いします）：

英語_____.

日本語_____.

ポスター作成のお願い

ポスター発表を行って頂ける方は、次のようにお願いします。

締め切り3月8日（水）

ポスターの作成：

ポスターセッションのポスター（A0サイズで作成）は、英語で作成が望ましいです。

学校・学科・研究室の紹介などのポスターは英語でも日本語でもよいです。

国際会議の要旨集は、前記のポスター（A0）をA4サイズにして、そのままカラー印刷し、冊子にします。

3月18日（土）受付後、長島町文化ホールのエントランスに掲示ください。

次の時間帯に説明をお願いします：18日（土）12:30-13:30 昼食後、14:30～15:00、17:00-19:00 交流会時

ポスター（A0版）の印刷方法については、3月3日（金）に案内します。

日程の詳細

3月17日(金)

午後 長岡技科大教職員・学生：長島町到着。 宿泊先：サンセット長島、太陽の里
海外等招聘者長島町到着

鹿児島高専教職員・学生：長島町到着。 宿泊先：サンセット長島、太陽の里

18:00～20:00 海外招聘者等歓迎会

会場：サンセット長島(指江)

参加者：招聘者等，実施関係者

3月18日(土)

会場：鹿児島県長島町文化ホール(指江)、日本語・英語の通訳有り。

9:30～10:00 受付

10:00～10:30 開会式

長岡技術科学大学長 東 信彦 あいさつ

鹿児島県長島町長 川添 健 あいさつ

鹿児島工業高等専門学校長 丁子 哲治 あいさつ

来賓あいさつ・来賓紹介

10:30～10:45 国際会議趣旨等の説明(長岡技術科学大学 教授 市坪 誠)

10:45～11:10 基調講演

11:10～11:20 高専・長岡技科大生による長島町活性化プロジェクト案の発表

11:20～11:30 ロボット・コンテスト・プロジェクトによる長寿社会支援ロボット紹介

11:30～12:30 パネルディスカッション

パネラー 長岡技術科学大学長 東 信彦

鹿児島県長島町長 川添 健

鹿児島工業高等専門学校長 丁子 哲治

モデレーター 長岡技術科学大学 准教授 中山 忠親

12:30～13:30 昼食

13:30～14:30 基調講演 スイス連邦材料科学技術研究所 Sébastien VAUCHER 博士

長岡技術科学大学 准教授 牧 慎也

長島町地域おこし協力隊・食における地方活性化担当 太田良冠

14:30～15:00 ポスターの説明(長島町文化ホールのエントランス)

15:10～16:50 現場見学会(大学・高専関係者：ブリ王、鯛王の養殖施設、ジャガイモ栽培地)

17:00～19:00 懇親会(一部、ポスターを掲示)

3月19日(日)

9:00～11:00 個別研究テーマに関する視察(19日午前：大学・高専関係者)

(バス移動：発電施設、畜産施設、柑橘類生産施設、焼酎工場、等)

12:00 長岡技大：宿泊先からバス等で移動(13時頃出水駅着、14時頃鹿児島空港着)

鹿児島高専：宿泊先から公用車等で移動